

山梨県北杜市観光地域おこし協力隊員募集要綱

北杜市は、山梨県北西部に位置し、北に八ヶ岳、西に甲斐駒ヶ岳、東に金峰山、瑞牆山など日本を代表する山々に囲まれており、南には雄大な富士山を望むことができる日本有数の山岳景観を誇るエリアです。

北杜市の恵まれた自然環境は、山岳景観などそのものの素晴らしさのみならず、アウトドア体験やおいしい食事、アート鑑賞等でリフレッシュのために訪れる国内外の観光客へ大きな感動をもたらしています。これらの魅力をより多くの方に知っていただき、「行きたい、住んでみたい」と思ってもらえることが、観光交流による地域の活性化にもつながると考えています。

人口減少によって国内向け市場規模が縮小する中、観光事業者の実情も加味する中でインバウンド誘客への緩やかな転換を図るため、令和5年度から積極的なインバウンド施策を展開しています。国においても観光立国推進基本計画にインバウンド回復戦略を位置づけており、本市が観光地として生き残るには、外国人観光客を積極的に誘客し、観光産業の活性化による地域経済の発展を図る必要があります。

また、中部横断道の開通による効果が浜松市など静岡県西部に波及し、流入増加が見られることから、静岡市から浜松市までのエリアをターゲットとした施策に取り組むほか、将来的な中部横断道北部区間延伸やリニア中央新幹線の開通など地域の交通事業の変化により商圈の拡大が見込まれています。これら広域的な変化も大きなチャンスであると考えています。

一方、本市においても若年層の都市部への転出や、少子高齢化の進展は深刻で、地域を取り巻く環境は厳しさを増し、人口減少が続いています。地域コミュニティも縮小傾向にあり、地域活動の維持・再生は重要な課題となっています。

そこで、地域おこし協力隊として一般社団法人北杜市観光協会等において業務を行いながら、地域に溶け込み、北杜市民・事業者と一緒にあって、豊かな自然資源を守りつつ、利活用することに意欲的に取り組むとともに、退任後も継続的にエリア内の観光関連産業の活性化の一翼を担っていただける方を募集します。